

あとべ 薫 かおる 通信



青葉区 仙台市議会議員【4期】

会派:せんだい自民党

市政に緊張感を持って。最新の話題と議会報告をお届けします。

皆様、いかがお過ごしですか。令和4年仙台市第一回定例会を無事に終え、様々な課題の解決に向けて、議論を行いました。市民の皆様から寄せられる市政課題に真摯に向き合うことをお約束します。

仙台市総合コールセンター
杜の都 おしえてコール
平日 8:00am~8:00pm
☎022-398-4894
(土・日・祝日は17時まで)

新型コロナウイルス
感染症
受付・相談センター
☎022-398-9211
(24時間受付・年中無休)

仙台市新型コロナ
ウイルスワクチン接種専用
コールセンター
☎0120-39-5670
(8時30分~19時 土日・祝日も受付)

1 仙台市議会について

令和4年仙台市議会第一回定例会は2月8日(火)から3月14日(月)まで開会し、2022年(令和4年)度一般会計当初予算など議案71件、意見書3件を原案通り可決し、人事案7件に同意いたしました。また、常任委員会などが招致する参考人が、オンラインでも出席できるようにするため、市議会委員会条例の改正案を議員提案で議決しました。今回の第二回定例会は2022年6月9日(木)から24日(金)までの予定です。

2 代表質疑について

今回の議会では市政全般にわたる課題について、会派を代表して質疑を行いました。宮城県による4病院の再編・統合の問題、新型コロナウイルスの小児ワクチン接種の準備状況、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の整備、アフターコロナの交流人口拡大策など、郡市政を巡る諸課題について質しました。詳しくはホームページからご覧いただけます。

3 4病院の再編・統合について

我が会派は4病院の再編・統合問題について、宮城県の村井知事と近隣自治体の首長との一層の連携を図るためそれぞれ情報交換を行い、仙台市の立場と周辺自治体との課題の把握と理解を深めることを目的に意見交換を行いました。私の代表質疑では病院の設置法人との協議状況や、基本合意の進捗への認識、住民の不安感を払拭するための説明などを郡市長に求めました。病院や医療機関はどこも経営的に非常に厳しい現状にあります。本市の取り組みとして応需率の低さや、救急搬送の適正化、近隣自治体との一層の連携などを進めるべきと提案しました。さらに宮城県との役割分担では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で健康に暮らして頂くために地域包括ケアシステムを充実させていく必要があり、適切な医療提供体制を確保し、回復期・慢性期病床を増やすために連携・協調が求められると提言しました。

4 近隣自治体の首長との意見交換を実施しました。

2022年1月~3月に、宮城県の村井知事、名取市の山田市長、富谷市の若生市長など、会派は近隣自治体の首長との意見交換の様態です。それぞれの立場を超えて、共通課題の把握と今後の方向性を確認しました。今回の自治体にとどまらず近隣自治体との対話を継続する予定です。



名取市の山田市長と

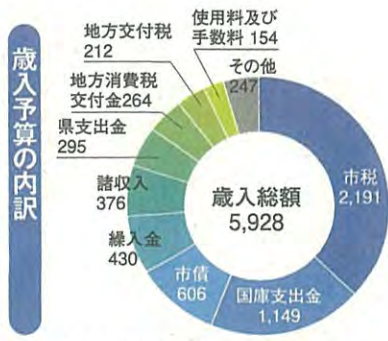


宮城県の村井知事と

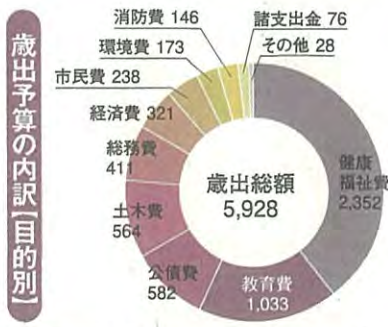


富谷市の若生市長と

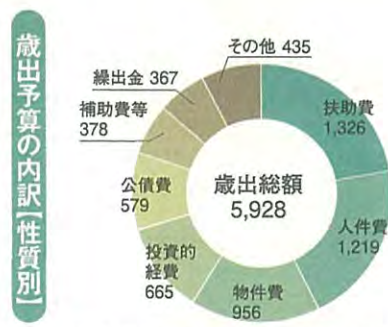
令和4年度 仙台市当初予算の概要



○市税収入は、軽減措置の終了による固定資産税の増加などにより、前年度に比べて131億円の増加。
○国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金の増加などにより、前年度に比べて199億円の増加。



○健康福祉費は、新型コロナウイルスワクチン接種の増加などにより、前年度に比べて245億円の増加。
○経済費は、中小企業融資預託金の減少などにより、前年度に比べて57億円の減少。



○人件費、社会保障関係費といった扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、子ども・子育て支援関連経費等により、前年度に比べて36億円の増加。
○投資的経費は、松森工場施設整備に係る経費が増加したことなどにより、前年度に比べて61億円の増加。

仙台市議会議員 跡部 薫(あとべ かおる) 仙台市議会 会派「せんだい自民党」会長

- 防災士 ● みやぎ障害者陸上競技協会会長 ● 仙台市私立幼稚園PTA連合会会長
- 北仙台地区連合町内会顧問 ● 中山学区連合町内会顧問 ● 桜ヶ丘学区連合町内会顧問 ● 荒巻地区町内会連合会顧問
- 北仙台中学校区地域教育協議会副会長 ● 桜丘中学校区青少年健全育成連絡協議会顧問
- 双葉ヶ丘地区防犯協会実働隊員 ● 荒巻マイスクール児童館第三者委員

昭和39年仙台市青葉区生まれ 東北学院桜ヶ岡高校卒業、東北学院大学法学部卒、東北福祉大学大学院修了

仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22
URL atobe-kaoru.com
e-mail info@atobe-kaoru.com
TEL.022-728-8588
◆会派/せんだい自民党(平日)
TEL.022-214-8644



令和4年 せんだい自民党活動方針

姿勢

自由民主党の綱領に基づき、市民と党の立場で市民の幸せと市政発展の実現に取り組んでまいります。

方針

- ・市民の安全と安心を第一に政策集団として市政の課題に取り組みます。
- ・特に地域力の向上、子育て世代等への支援、また経済の活性化を重視します。

取り組み方

- ・各世代・各分野の皆様と意見交換を行うとともに、現地調査によって実態・課題を把握します。
- ・国、県、関係市町村との連携・協力を促進します。
- ・市民の皆様へ正しい情報を発信します。



たむら まさる

田村 勝

宮城野区(1期)

きくち たかよし

菊地 崇良

若林区(3期)

ささき しん

佐々木 心

太白区(2期)

かおる

あとべ 薫

青葉区(4期)

むらおか

村岡たかこ

青葉区(1期)

さいとう のりお

斎藤 範夫

泉区(5期)

さとう まさあき

佐藤 正昭

若林区(8期)

現場主義! せんだい自民党 TOPICS

私たちの日々の活動の一部をご紹介します。

㊦ 子育て支援の現場の実態と課題を把握!

特定非営利活動法人STORIA様
が取り組む「孤立する家庭を防ぐためのアウトリーチ事業」の現場を訪問しました。これは、主にひとり親や困窮家庭からのメール等による相談へ親身に対応するとともに、高砂団地西区町内会や学生ボランティアの協力を得て、子どもたちを見守り育む居場所の提供を行うものです。



この事業の拡大を議会で提言したところ、令和4年度から各区で相談事業が行われることになりました。公的支援との相乗効果を期待します。

また、近年、市内各地で子供食堂が開設されています。今回は連坊コミュニティセンターで運営している主催者のお話を伺いました。地元企業から食材などの提供を受け、ここでも町内会と学生や一般ボランティアの協力でお弁当が作られていました。このような善意の皆様は私たち市民の宝です。しっかりと応援してまいります。

👁️ アクアイグニス仙台を視察

若林区藤塚で4月21日オープン「アクアイグニス仙台(温泉と食の複合施設)」を視察しました。この施設は、復興事業として民間事業者からの公募・協力によって建設・運営されます。すでに開設した「JRフルーツパーク仙台あらはま」、「せんだい3.11メモリアル交流館」や「震災遺構・荒浜小学校」、名取市の復興事業、県による貞山運河の利活用などとあわせ、震災の伝承と水辺の新たな賑わいづくりを目指し、提言を重ねたいと思います。



🤝 県との連携 ~第1弾~ 村井知事との意見交換

令和4年度の第1回定例会に先立ち、会派全員で宮城県知事を訪問しました。コロナ禍から県民を守る取り組みの強化と、事業者支援の充実を求めたほか、現在検討されている4病院の統合は、通院者の利便性と救急搬送時間が低下する懸念があることを伝えました。また、市が音楽ホールを青葉山交流広場に建設するため、県が宮城野区に移転を予定する新たな県民会館と競合する可能性や、移転後の中心市街地の活性化をどのようにするべきか、などについて熱い意見を交わしました。引き続き県と市の効果的な連携のため、分析と政策提言を行っていききたいと思います。



🤝 近隣自治体との連携 ~第1弾~ 山田市長/名取市との意見交換

名取市の山田市長とは、コロナ禍対応のほか、同市が進めている復興事業「かわまちてらす閣上」や「サイクルスポーツセンター」と仙台市沿岸部のにぎわい事業との回遊性、優れた音響の名取市文化会館の成功事例、そして、4病院統合についての考え方等について意見交換しました。市長からは両市連携の積極的なご意見を頂戴しました。持続可能な仙台都市圏の構築に向けた取り組みが、今こそ求められています。



👁️ 仙臺緑彩館を視察

青葉山公園の片倉小十郎邸跡地に「仙臺緑彩館(せんだいりょくさいかん)」の建設が進んでいます。仙台北大手門の建設を見据えた市民の憩いの場として、また、今後の観光交流の情報集積拠点として活用する予定です。なお、青葉山公園は令和5年度の全国都市緑化仙台フェアのメイン会場になることが決まっています。

